

# 運営会議録

会議名称	令和6年度 伊達市高齢者虐待防止ネットワーク運営会議
開催日時	令和6年5月21日（火）14時00分～14時30分
場 所	市役所2階会議室B
出席者	委員9名（欠席：3名）
議 題	（1）高齢者虐待に対する取組について （2）令和5年度高齢者虐待対応の事例について

## 【会議の概要】

### ■開会

挨拶（三浦健康福祉部長）

### ■机上配付資料に関する説明

事務局より資料3・4・5について説明

資料3：「伊達市成年後見支援センター」が、国の成年後見制度利用促進基本計画などに基づき、令和6年度から中核機関として、さらに権利擁護支援の機能を充実させている。

資料4：令和6年1月施行「認知症基本法」では、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、施策を講じることとなっている。虐待発生のきっかけの半数以上を占める認知症との付き合い方について、この会議にて共通認識を深めていきたい。

資料5：認知症に理解のある方を増やしたいという思いから、令和6年度は関係機関向けの認知症サポーター養成講座の周知に努めたい。

### ■報告及び協議事項（三浦議長議事進行）

#### （1）高齢者虐待に対する取り組み結果について

事務局より資料1・2に基づき説明

#### 【質問・意見】

なし

#### （2）高齢者虐待対応の事例報告

事務局より資料2に基づき説明

#### 【質問・意見】

なし

### ■その他

なし

### ■閉会

挨拶（荻野副議長）

# 令和5年度高齢者虐待に対する取組について

資料1

※（ ）内、令和4年度実績

## 1. 高齢者虐待の周知啓発 関係機関への研修

取組内容	実績等
・ 広報掲載 ・ 市ホームページへの掲載	・ 「高齢者虐待を防ぎましょう」 9月号 1回（1回） ・ 防ごう「高齢者虐待を防ぎましょう」 通年

## 2. 権利擁護事業の実施

取組内容	実績等
伊達市成年後見支援センターの運営 (令和2年4月開設)	相談件数 延167件 (延134件)

## 3. 認知症対策権利擁護事業の実施

取組内容	実績等
認知症高齢者の理解の普及	・ 認知症ガイドブックの配布・据え置き ・ 認知症出前講座 0件 ・ 認知症サポーターの養成 439名 (189名) 〔うち 小学生 283名 (95名) 中学生 1名 (0名) 一般市民 155名 (94名)〕
認知症高齢者見守り事業の実施	・ GPSの貸出 新規0名 (0名)、継続1名 (3名) ・ 反射シール 申請6名 (9名)
事業者協力による高齢者等地域見守り活動（もしかしてネット）の継続運用	・ 協力事業所 137か所 (136か所) ・ 異変通報件数 20件 (26件)
関係機関との連携体制	・ 定例会議の開催 4回 (7回) (認知症疾患医療センター、伊達市地域包括支援センター、市認知症担当者)
認知症初期集中支援チーム活動	・ 支援対象者 14名 (16名) 新規10名 (10名) ・ チーム員会議開催 12回 (12回)

## 4. 虐待相談・通報への対応

取組内容	実績等
高齢者虐待等通報への対応	通報・相談件数 14件 (3件) ※資料2参照

# 令和5年度高齢者虐待対応の事例について

## 1. 高齢者虐待等通報・相談者数と対応状況

	R5	R4	R3	R2	R1
養護者による虐待	14	3	14	20	8
虐待対応	1	0	2	2	3
事実なし	13	3	12	18	5
養介護施設従事者等による虐待	0	0	1	1	0
虐待対応	0	0	0	0	0
事実なし	0	0	1	1	0

## 2. 養護者による高齢者虐待類型

	R5	R4	R3	R2	R1
虐待対応数	1	0	2	2	3
身体的虐待	1	0	2	2	2
放棄・放任	0	0	0	0	1
心理的虐待	0	0	0	0	1
経済的虐待	0	0	0	0	1
性的虐待	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

※類型重複あり

## 3. 養護者による虐待

### 1) 通報者

	R5	R4	R3	R2	R1	計
養護者による虐待通報	14	3	14	20	8	
介護支援専門員	1	1	1	3	1	7
介護保険事業所職員	0	0	0	0	0	0
医療機関従事者	0	0	1	0	1	2
近隣住民・知人	1	0	1	0	0	2
民生委員	1	1	0	0	1	3
被虐待者本人	2	0	0	1	3	6
家族・親族	2	0	2	1	2	7
虐待者本人	0	0	0	0	0	0
当該市町村職員	0	0	0	1	0	1
警察	6	1	9	11	0	27
その他						
成年後見支援センター	1	0	0	0	0	1
消防	0	0	0	2	0	2
LSA	0	0	0	1	0	1
不明・匿名	0	0	0	0	0	0

・通報件数は年によってばらつきが見られる。

・身体的虐待が最も多い。類型が重複しているケースもある。

・通報者は、警察、介護事業所、家族・親族、高齢者本人の順が多い。

・特に介護事業所では入浴等支援時に、内出血等の異変を発見し通報につながるケースが多い。

### 2) 高齢者（被虐待者）の性別・介護度

	R5	R4	R3	R2	R1	計
虐待対応数	1	0	2	2	3	
性別						
男性	0	0	0	0	0	0
女性	1	0	2	2	3	8
介護度						
自立	0	0	0	0	1	1
要支援1	0	0	0	0	1	1
要支援2	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	1	1	1	3
要介護2	0	0	1	1	0	2
要介護3	1	0	0	0	0	1
要介護4	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0

#### ◆被虐待者のうち認知症診断の有無

	R5	R4	R3	R2	R1	計
あり	1	0	1	2	1	5
なし	0	0	1	0	2	3

#### ◆被虐待者のうち介護保険サービス利用の有無

	R5	R4	R3	R2	R1	計
あり	1	0	2	2	3	8
なし	0	0	0	0	0	0

・虐待を受けた高齢者は全て女性。そのうち約6割に認知症の診断あり。

・介護度は要介護1・要介護2が多い。過去5年間では、虐待を受けた高齢者全てが介護保険サービスを利用中。

・虐待をした養護者は同居の配偶者、息子、娘が多く、身近で介護を担っているケースがほとんどである。

・虐待の要因となる介護ストレスについて、認知症への対応、排泄の介助に負担を感じているケースが多い。養護者のほとんどは一人で家事・介護を担い、日々繰り返される介護に徐々にストレスが高まり、虐待に至るという状況が見られる。

### 3) 養護者の状況

	R5	R4	R3	R2	R1
配偶者	0	0	0	2	2
内縁の夫	0	0	0	0	0
息子	0	0	2	0	1
娘	1	0	0	0	0

### 4) 虐待の要因

	R5	R4	R3	R2	R1
介護ストレス	1	0	2	2	1
元からの関係性	0	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0